

No.	点検年	橋梁名	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	判定 区分	所見等
1	2014	川北橋	共栄線	5	PC橋	PC橋 ポステンT桁	156.05	8.20	7.00	1968	49	Ⅲ	主桁・横桁・床版は遊離石灰に錆汁が混じるが局部的なためⅡとした。P3洗掘はd判定であるが、設計時からの進行が遅いためⅡとした。
3	2015	南2線橋	歌越南1線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	15.20	6.50	5.50	1980	37	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微ではある。
12	2015	学校橋	歌越原野乙支線	1	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	15.64	8.70	7.50	1991	26	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
8	2015	内野橋	歌越原野乙支線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	16.58	8.20	7.00	1983	34	Ⅱ	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。支 承モルタルの欠損が著しい為、打ち替え等の検討措置を講ず るのが望ましい。
10	2015	第1共栄橋	共栄線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	17.05	8.70	7.50	1988	29	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
17	2015	岩戸橋	北海岸線	1	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	18.70	8.10	7.00	1974	43	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
9	2015	東1号橋	久光中央線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	18.74	7.70	6.70	1985	32	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
11	2015	中山橋	遠別原野丁支線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	19.56	7.50	6.50	1988	29	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
13	2015	陰の橋	牧場線	1	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	19.67	7.50	6.50	1992	25	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
5	2015	佐久間橋	清川原野甲線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	20.20	7.00	6.00	1982	35	I	損傷程度は、橋体全体としての耐荷力の面から軽微である。
2	2015	渡栄橋	歌越幸和線	1	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	20.50	8.70	7.50	1999	18	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
4	2015	清水橋	清川原野甲線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	21.75	7.00	6.00	1981	36	Ⅲ	沓が露出しており、支承直下のモルタルが脆弱化。上部工からの 荷重支持機能が損なわれている。早期に措置を講ずべき状態 である。
14	2015	浜里橋	北海岸線	1	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	22.67	8.70	7.50	1994	23	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
6	2015	緑豊橋	富士見旭線	1	H型鋼	H型鋼 H形鋼(合成)	24.00	6.50	5.50	1977	40	Ⅲ	支承部の防食機能が著しく低下しているため、放置すると機能回 復が困難となり早期に措置を講ずべき状態である。
20	2015	基線2号橋	歌越原野甲線	1	鋼溶接橋	鋼溶接橋 I桁(不明)	25.00	7.20	6.00	1976	41	Ⅲ	沓が露出しており、支承直下のモルタルが脆弱化。上部工からの 荷重支持機能が損なわれている為、早期に措置を講ずべき状 態である。
7	2015	緑風橋	富士見旭線	1	PC橋	PC橋 ポステンT桁	27.80	6.00	5.00	1983	34	I	損傷程度は、橋体全体としての耐荷力の面から軽微である。
16	2015	渡辺橋	北海岸線	1	鋼溶接橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	30.00	8.00	7.00	1977	40	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
21	2015	町林橋	清川1号線	1	鋼溶接橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	36.00	7.00	6.00	1979	38	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
23	2015	宮下橋	歌越原野乙支線	2	PC橋	PC橋 プレテン中空床版	41.00	8.70	7.50	1991	26	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
15	2015	旭橋	歌越幸和線	1	鋼溶接橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	46.00	8.70	7.50	1993	24	Ⅱ	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微ではあるが A2下部工の洗掘が著しい為、洗掘対策等の予防措置が望まし い。
19	2015	東野橋	東野西線	2	鋼溶接橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	61.00	4.70	4.00	1974	43	Ⅱ	A1下部工沓座部の欠損が著しい。今後凍害の影響が進行する と支承部に影響が生じる為、断面修復等の予防措置が望まし い。
40	2016	第2クマウ シュナイ橋	歌越幸和線	1	PC橋	プレテン中空床版	16.26	8.70	7.50	2003	14	Ⅱ	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。

41	2016	牧野橋	牧場線	1	PC橋	プレテン中空床版	16.64	7.70	6.50	1993	24	I	構造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
43	2016	北2線橋	旭原野乙線	1	H型鋼	H形鋼（合成）	18.00	5.00	4.00	1976	41	II	防食対策として鋼部材塗装塗替を実施することが望ましい。
44	2016	東6号橋	啓明東6線	2	鋼溶接橋	I桁（合成）	40.00	6.50	5.50	1974	43	III	防食対策として支承塗装塗替をを早期に実施する。
42	2016	旭3線橋	歌越幸和線	1	鋼溶接橋	I桁（合成）	42.00	8.70	7.50	1994	23	II	機能回復対策として下部工ひび割れ補修を実施することが望ましい。
45	2016	樹遠大橋	歌越幸和線	4	PC橋	ボステン箱桁	357.20	10.50	9.50	1999	18	I	主要部材の損傷は直ちに補修するほどの緊急性はなく、健全であると判断できる。排水装置の脱落については、補修の実施が望ましい。